

---

令和2年度 第1回 無電柱化推進のあり方検討委員会  
－ 無電柱化の推進に関する取組について －

2020年6月10日  
電気事業連合会

---

# 1. 無電柱化取組実績

- 無電柱化については、防災、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の向上などを目的に、昭和61年度から道路管理者（国・地方自治体）や電線管理者（一般送配電事業者・通信事業者）などの関係者が地元の要望を踏まえ、策定・合意した無電柱化計画に基づき、**累計約1万kmの無電柱化を実施**してきた。
- 現在実施中の無電柱化推進計画および3カ年緊急対策の**計2,400km**については、各地方ブロック協議会において対象路線の選定・協議を進めており、**現在約9割が合意済み**。

約9割が合意見込み  
(R2.3月末時点)

## <無電柱化実績>

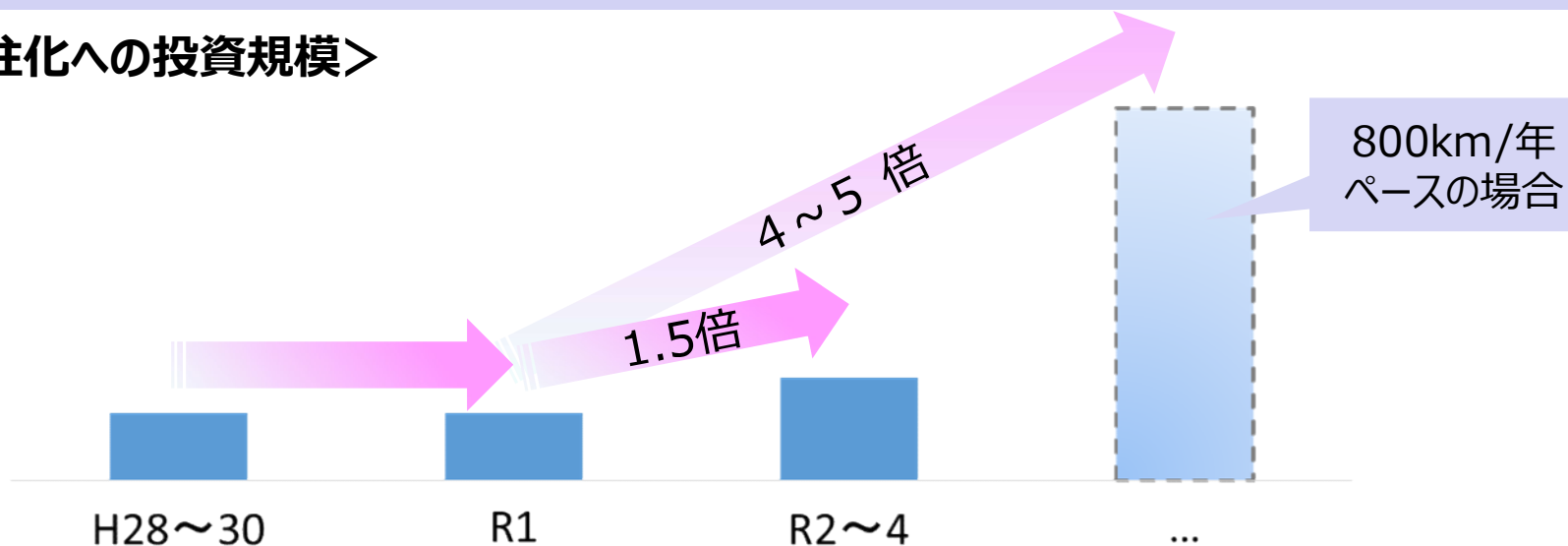
	第1期 (S61-H2)	第2期 (H3-6)	第3期 (H7-10)	第4期 (H11-15)	第5期 (H16-20)	ガイドライン (H21-29)	無電柱化 推進計画 (H30-R2)
整備 延長	1,000km 年間200km	1,000km 年間250km	1,400km 年間350km	2,100km 年間420km	2,200km 年間440km	2,200km 年間250km	1,400km
							3カ年緊急対策 1,000km 年間800km

## <実施中>

## 2. 事業者としての計画策定

- 2,400kmの対象路線の選定はほぼ完了したことから、各社で個別路線毎に詳細設計等の検討を進めており、**道路管理者との協議により工程が決まったものから工事計画や設備投資計画へ反映している。**
- 800km/年ペースで試算した場合、これまでの**約4~5倍の投資規模となる見通し。**

### <無電柱化への投資規模>



### <課題認識>

施工力確保	ケーブル工事に係る <b>技術力・施工力確保</b> 等	昼間工事の適用拡大
コスト削減	<b>新機材の開発</b> や、ケーブルメーカーとの協議 等	
投資回収	<b>無電柱化費用の適切な回収</b> ➡ 託送料金への機動的な反映 ➡ 「観光地域振興無電柱化推進事業」等の補助金事業についても、引き続きご支援を賜りたい	

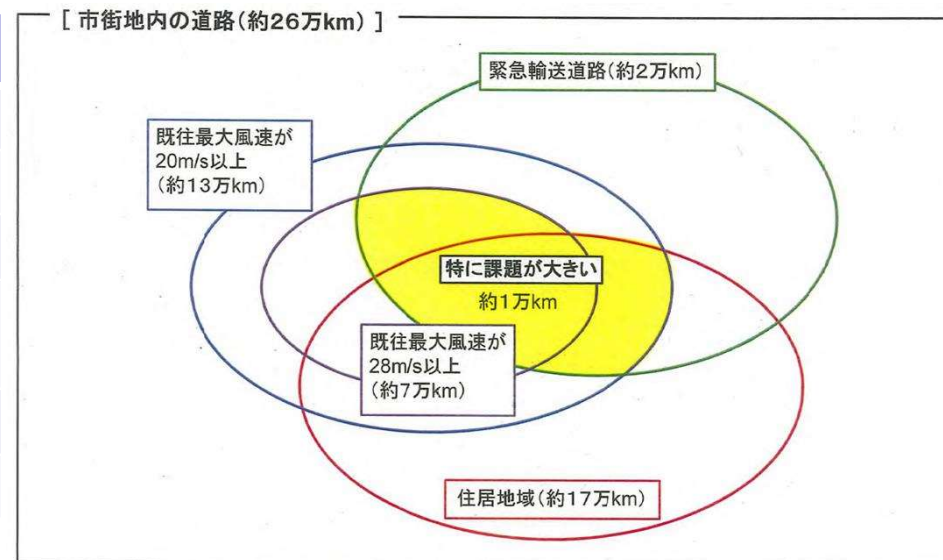
### 3. 次期無電柱化計画策定に向けて ①

- 現行計画では、下記**重点化の対象道路約1.7万kmのうち、優先度の高い1,400kmを選定・推進中（残り約9千km）**。
- 地方ブロック協議会での協議においても、この**優先順位の考え方は非常に有効**だと考えており、次期計画においても**こうした優先順位の考え方を是非整理していただきたい**。
- この際、**3カ年緊急対策の対象道路も含めた全体の優先順位の明確化**をお願いしたい。

#### <無電柱化推進計画（H30.4）>

分類	重点化の対象道路
防災	都市部(DID)内の第1次緊急輸送道路
安全	バリアフリー化の必要な特定道路
景観・観光	世界文化遺産周辺の地区を代表する道路
	重要伝統的建造物群保存地区を代表する道路
	景観法に基づく景観地区等を代表する道路
オリンピック・パラリンピック関連	

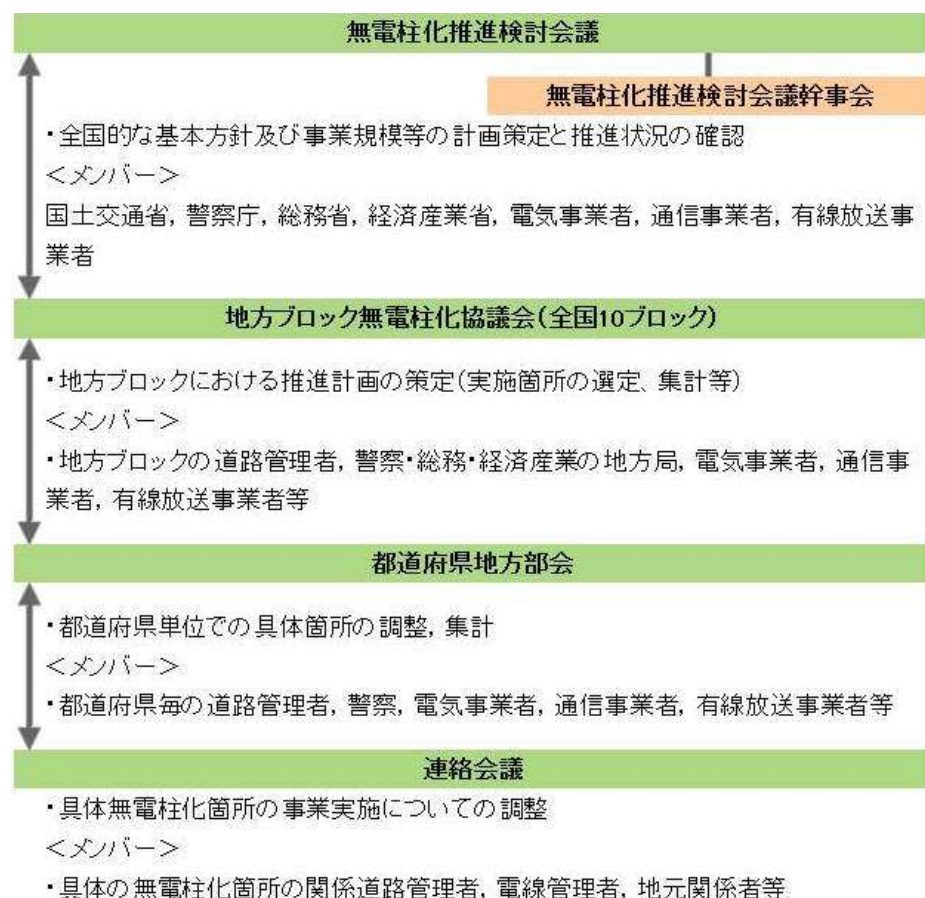
#### <3カ年緊急対策（H30.12）>



### 3. 次期無電柱化計画策定に向けて ②

- **現在の無電柱化の推進体制は、**地元のニーズを吸い上げられる仕組みになっており、**理解促進、合意形成の面からも大変有効に機能していると考えている。**
- この体制が更に機能する観点からの**支援策について検討してはどうか。**

#### <無電柱化の推進体制>



#### <次期計画に向けた事業者としての気付き>

- ◆ **長期的な優先順位の策定がまだの自治体があるため、策定の支援が必要ではないか。**
- ◆ **道路新設時の同時整備(管路埋設)が選定され難いことから、優先順位の考え方に織り込んではいかがか。**
- ◆ **補助金事業活用等で単独地中化スキームで整備する場合においても地域の全体的な優先順位の検討・合意形成面で有効であることから、ブロック協議会で協議することとしてはどうか。**

## 4. 電力業界の最近の取組 ①

- 戸建て開発時等面開発におけるデベロッパーや、自治体の無電柱化ニーズに応え、電力業界の保有する無電柱化に関する**技術・ノウハウを活用したコンサル事業**を実施。

### (事例1) 守谷市松並地区 (戸建て開発)

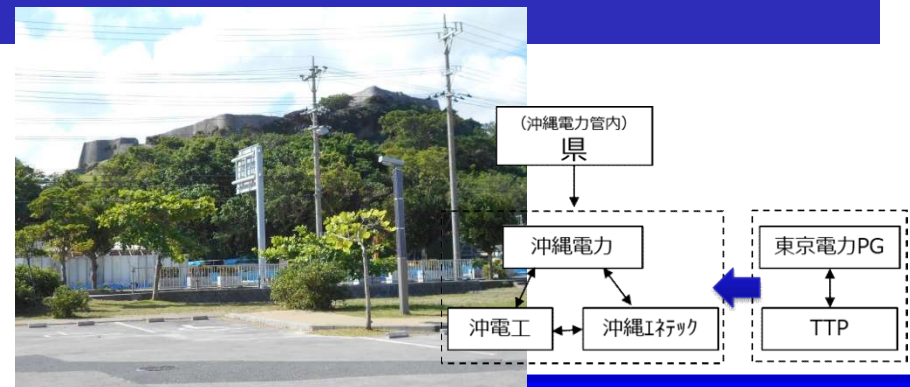


- ✓ 東電グループが全962戸の大規模戸建て開発事業に伴う無電柱化整備において、**設計から施工までを一括して受託・実施**
- ✓ 区割りや需要等の条件を考慮しつつ、**経済的かつ合理的な設計を提案**

◆ **東京都の「宅地開発無電柱化パイロット事業」の補助金事業**は、新設電柱抑制効果があると思料。**その他の地域への拡大についてご検討をお願いしたい。**

### (事例2) 沖縄県道16号線 (勝連城跡前)

- ✓ 既存ストックノウハウを持つ東電グループが協定締結を水平展開支援、**自治体に既存ストックによる整備を提案**





## 4. 電力業界の最近の取組 ②

- 道路管理者および地域のニーズに応じたきめ細やかな対応を行うとともに、**地域に応じた設計を行うことで、低コスト化や工期短縮化に貢献。**

### (事例3) 巣鴨地蔵通り (豊島区)

- ✓ 商店街に歩道がなく、地上機器設置不可のため、**アーチ看板上に変圧器を設置することを提案**
- ✓ 工期短縮のため、東京電力 P G と豊島区との「新協定 (すぐやる協定) を締結」  
(商店のため地域より約12か月の工期短縮の要望)



変圧器設置スペース  
(アーチ看板上)



## 5. コストダウンの検討（機器のコストダウンの検討例）

- 無電柱化工事に用いる以下の電力用機器について、仕様統一化やコンパクト化を指向することにより、**コストダウンの検討を着実に進めていく。**

	ソフト地中化用変圧器	地上機器
イメージ		
開発状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>10社での統一仕様に向けた<b>試作・性能評価を完了</b></li> <li>2020年度、作業性検証等を予定</li> </ul>	10社での <b>開発に着手</b>
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>地上機器の設置が難しい狭隘道路や浸水リスク箇所へ適用</li> <li><b>従来比変圧器コストの4割の削減を見込む</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様統一による低コスト化</li> <li>コンパクト化による景観性の向上</li> <li>浸水対策構造の適用による供給信頼度向上</li> </ul>



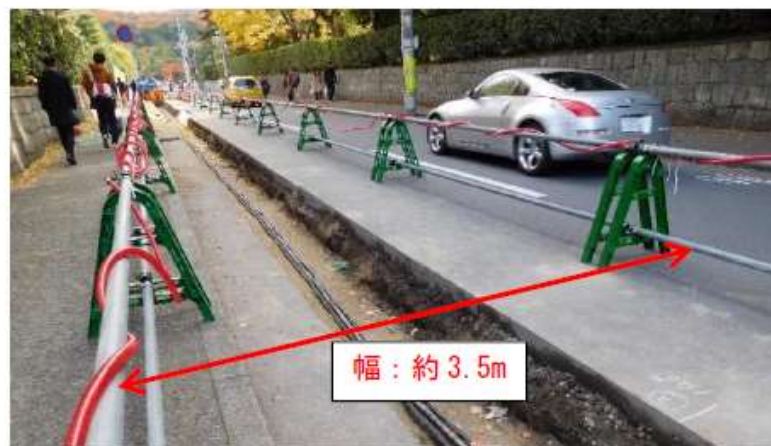
## 5. コストダウンの検討（常設作業帯による昼間工事の拡大・工期短縮）<sup>9</sup>

- ・ 常設作業帯の設置により、日々の復旧工事を抑制するとともに、昼間工事の拡大、工期短縮が図られ、工事作業員の安全確保、低コストに寄与することが期待される。

### <板橋区実証実験における常設作業帯の設置事例>



### <京都市実証実験における常設作業帯の設置事例>



◆ 無電柱化関係者で連携のうえ、理解促進に向けた活動をお願いしたい。